

イエスのうちにとどまる

最後の晩餐のときにイエス様が
何回も繰り返されたことばです。

「わたしのうちにとどまりなさい」

「わたしの愛のうちにとどまりなさい」。

イエスのうちにとどまるなら、
すべてが変わります。

神様を「天の父」と呼べます、
他人は、兄弟姉妹になります、

自然は、皆に与えられた

神様の賜物として見えてきます、

自分は、神に愛されていることが分かります。

そこから、天の父が望んでおられる

「だれをも置き去りにしない」世界を

築く力が生まれます。

イエスよ、

あなたの愛のうちに

とどまらせてください。



1

わたしたちは、見たことや聞いたことを
話さないではいけないのです 使徒言行録 4・20

第一日曜日 (10月3日)

ステップ1 福音を観想する

「福音を伝えようという決断にとって最高の
動機づけは、愛をもって福音を観想すること、
その内容をじっくり考えて心で読むことによって
得られます。そのようにして福音と向き合う
ならば…人をより人間らしくし、新たな生へと
導くよいものがわたしたちに託されている
ことを、日々再発見させてくれます。それを人へと
手渡すこと、それに勝る行いはありません。」

(『福音の喜び』264)



全世界の教会に思いをはせながら、
祈りの心の旅を始めましょう。
毎週一つの大陸とそこで生きている
兄弟と姉妹と共に祈りましょう。
第1週はアフリカ大陸です。

主よ、

アフリカのすべての民への尊敬と愛のまなざしを
お与えください。この大地の苦しみとその豊かさを
あなたにゆだねます。アフリカの兄弟姉妹たちから
温かいもてなしと素朴な生活を学びますように。アーメン。

福音宣教の手 ①

イエスを伝えることについて考えるときに役立つ、五つの言葉があります。手の指5本を使うと覚えやすいかもしれません。

- 親指は ①「**存在**」 (presence)
- 人差し指は ②「説得」 (persuasion)
- 中指は ③「宣言」 (proclamation)
- 薬指は ④「力」 (power)
- 小指は ⑤「祈り」 (prayer)



① 存在としての宣教

1981年にジェラルディンがキリストを信じたとき、夫ブルースには信仰に対する興味はまったくありませんでした。彼は多忙な弁護士で、ほとんどの週末、ゴルフをして過ごしていました。10年間、ジェラルディンはブルースのために祈り、彼の前でクリスチャンとして生きることを実践しました。彼女は夫に対して信仰を強制したり、信仰に関する議論はしなかったのです。数年の間にブルースは、彼女のたぐいまれなる親切や配慮、特に彼の母親が癌になり、それからくる他の病気によって気難しくなったときの妻の態度に、心を動かされるようになりました。そして、信仰の刷新のグループのコースに参加することを決心したのです。ジェラルディンは、次のように語っています。『私はブルースを何とかグループに連れて行ったのですから、後はあなたの出番です！とずっと泣きながら神に祈りました』。コースの第7週目に、ブルースはキリストに人生を献げ、最も熱心なクリスチャンに彼は変えられていたのです。

イエスは言われました。

『あなたがたは地の塩である。あなたがたは世の光である』

主日の福音から黙想のヒント

神は結び合わせてくださったものを… (マルコ 10.2-12)

初めのように今も神は夫婦の愛が新しいいのちを迎える唯一の場所としてお創りになった。傷ついた現代の家庭は福音の息吹によって癒され、立ち上がってキリストの愛を伝えることに召されている。

一緒に祈りましょう (共同祈願)

- ☆ 宣教の月にあたって、一人ひとりが福音を告げる前に自身がキリストの言葉を味わうことが出来るように。
- ☆ 教皇フランシスコとの交わりの中で行われる宣教の活動が世界中のキリスト者の一致から始まりますように。

